

令和5年3月1日発行 第11号

学校教育目標「認めあう」

●志 抱いて 学びあい ●豊かな心で 思いあい ●元気にスポーツ 鍛えあい



二中だより

松伏町立松伏第二中学校

〒343-0115 北葛飾郡松伏町上赤岩 711

<http://matsubushi.ed.jp/matu2tyu/>

TEL 992-0051

発行責任者 校長 渡邊 康弘



教員になろう！



校長 渡邊 康弘

埼玉県公立高等学校の入試で2月22日(水)に学力検査、24日(金)に面接、実技検査が行われ、本校の生徒は全員無事に受検することが出来ました。入試結果の発表は3月3日(金)、卒業式が15日(水)と3年生の中学校生活はあとわずかです。入学から、新型コロナのため例年の学校生活を送ることが出来ない事もりましたが、今年度は何とか行事等も行い、思い出がたくさんできたでしょう。

さて、学校教育において、様々なニュースが入ってきて、大きな変革期になっています。例えば、GIGAスクール構想(タブレット)、部活動などはすでに周知の事ですね。先日は埼玉県教員採用試験において「セカンドキャリア特別選考」が、来年度から導入されると報じられました。これは「通算して5年間以上の民間企業等での本採用経験を有する者に対して特別選考を実施する。2年間の教員免許取得期間猶予を設けることにより、教員免許を所持していない者も受験可能となる。ただし、採用は教員免許取得後。」となっています。詳細は示されていませんが、本年度の埼玉県小学校教員採用試験の倍率が近年2.6→2.5→2.1→過去最低の1.8倍となり、教員を志望する者が少なくなった事への対応です。中学校教員の倍率も同様に5.3→4.2→3.8→3.7倍と低くなっています。

さらに調べてみると、横浜市では来年度の小学校教員採用試験から、大学3年生で内々定、4年生春に内定を出す全国で初めての特別選考も実施されるようです。民間に流れないように早めに人材を確保する狙いです。また、東京都と相模原市も来年度採用試験から、大学3年生でも1次試験の一部の受験を可能とする方針を表明。教員不足が深刻化する中、早期の「困り込み」に拍車がかかっています。

埼玉県では学生に教員の魅力を実感してもらうため、本年度から新たに「彩の国かがやき教師塾」を開始。1月から大学3年生約80人を対象に、より専門的な内容を学ぶ体験実習や講義などを受ける取り組みが始まり、本校にも、明るく元気な学生が1名、教員を目指して研修しています。

2学期に行った校長面接では保育士希望の生徒が多くいましたが、二中の〇〇先生のような中学校の先生になりたいと決意を述べていた生徒が何人もいました。将来、地元の埼玉、松伏に教員として勤務してくれることを望みます。もしかしたらどこかの学校で恩師の先生と一緒に働いているかもしれませんね。